

1999(平成11)年6月15日 Shizuoka Consulting Engineers Association 静岡県技術士協会
事務局 〒424-0888 (株)建設コンサルタンツセンター内 (TEL 0543-45-2155(代) FAX 0543-44-2105)

会 長：渡邊佐一郎 専務理事：木村 芳正

編集担当者：稲葉 弘之 北本 達治 勝又 幸雄

振込口座：静岡銀行 御殿場支店 普通預金 0634554 静岡県技術士協会 会計 小川誠慈 (0550-83-8643)

【1999年度・会長あいさつ】



静岡県技術士協会会長
渡邊佐一郎

選挙、選挙で世の中は、慌ただしい今日この頃でございます。

下げ止まり感だの、底は見えただの、表現を変え、ああだのこうだのと昨今を表現する声も聞かれます。私共技術士といたしましては、直接的経済活動や目先の経済環境に一喜一憂しているのではなく、そういう時だからこそ、社会も企業も一人一人の個人でさえ、価値観が変化し、求める幸福感が人間の根源的な部分に向き直るのではないかと思います。己の足下を見返した時、真に今、必要なものは何かが見えて来ると思います。

我々、真の力を発揮する時が来たとも言えましょう。我々、自己をみがき、時代のニーズに応えられる専門性をつちかい、発揮できるよう努力を重ねたいものです。

各分野の専門家諸氏が名を連ねるこの協会こそ、世に広く知らしめ、それぞれの又は、重複したその力を世間で活用なり、利用なりしてもらえるよう、もっと真価をアピールすることも必要かと思えます。

ここに御参集された諸先生方と共に、残り少ない二十世紀の締めくくりの時代を有意義に又、二十一世紀への飛躍のいしずえとして頑張っ参りたいと思えます。

役員、理事、副会長の御協力をいただきまして、会長としての任務もおかげさまで半分が過ぎました。私の至らない所をカバーしてお力添えをいただき感謝致しております。

今後とも、どうぞ宜しく御協力御願ひ申し上げます。

1999年度定時総会開催

1999年4月23日(金)於:クーポール会館(静岡市)

総会成立が確認され、以下の議案が審議、承認されました。

総会議案書[抄]

第1号議案 1998年度事業報告

1 会員の状況

・ 会員数 1999年3月現在

会員数 正会員 178名

賛助会員 18社

年度内入会者 9名

年度内退会者 3名

会員数199(うち賛助会員18社)

・ 入会者(入会登録順)9名

寺田 浩清 平出岳登志 大野 英也

武田 晴夫 山本 秀洋 山下 久吉

安藤 祐副 佐々木 浩 渡邊 定弘

・ 退会者(順不同)3名、

本杉 正義 後藤 克彦 池谷 保緒

・ 休会者(順不同)3名

荒野 吉也 白井 五郎 加納 照彦

(昨年度のまま 本年度はなし)

2 総 会

日 時 1998年4月24日(金)14:30~

会 場 静岡市 サンパレスホテル

議 案 第1号議案 1997年度事業報告

第2号議案 1997年度決算報告

第3号議案 名誉会員推戴の件

第4号議案 役員改選の件

第5号議案 1998年度事業計画

第6号議案 1998年度収支予算 第7

号議案 事務局変更の件

第8号議案 その他

出席者 121名(内、委任状 75名)

記念講演 『アイデアの出し方』

中村 義作 先生

3 例 会

・ 98年度第1回例会

日 時 1998年7月7日(火)12:30~

参加人数 28名

内 容 陸上自衛隊 富士学校

・ 98年度第2回例会

日 時 1998年10月8日(木)13:00~

参加人数 27名

内 容 三井農林(株)藤枝工場及び食品

総合研究所

・ 98年度第3回例会

日 時 1998年12月4日(金)14:30~

参加人数 8名

内 容 静岡市 クーポール会館

会員による講演

平出岳登志 会員

浅野 龍雄 会員

寺田 洋子 会員

・ 98年度第4回例会

日 時 1999年3月2日(火)14:00~

参加人員 30名

内 容 ヤマハ発動機(株)コミュニケーションプラザ

4 常任理事会

・ 第1回常任理事会

日 時 1998年5月16日(土)11:30~

会 場 清水市 (株)建設コンサルタントセンター会議室

議 題 定例会開催計画について

感謝状贈呈について

会報刊行について

・ 第2回常任理事会

日 時 1998年7月17日(金) 11:00~
会 場 静岡市 ホテルアソシア・ターミナル喫茶室
議 題 中部支部事務運営上の年会費徴収への対応について
感謝状贈呈について
その他

・ 98年度第3回常任理事会

日 時 1999年3月2日(火) 11:00~
会 場 磐田市 寿司好
議 題 1999年度総会議案について

・ 98年度第4回常任理事会

日 時 1999年3月20日(土) 12:00~
会 場 清水市 (株)建設コンサルタントセンター会議室
議 題 1999年度総会議案について

5 理事・役員会

日 時 1998年4月6日
場 所 静岡市 サンパレスホテル
議 題 98年度定時総会議案の審議

6 地区ブロック会合

東部地区

日 時 1999年1月28日(火) 18:30~
会 場 沼津市 沼津軒
議 題 次年度定例会について
参会者20名

7 会報の発行

第84号 1998年 6月15日
第85号 1998年 9月15日
第86号 1998年12月15日
第87号 1999年 3月15日

8 事業

・ 調査・研究・監査・指導等の業務受託

舞阪町庁舎建替え事業に伴う監査の指導

伊藤和美会員に委託

・ 地方公共団体や協会等への当協会への認識度向上活動

・ 日中友好協議会よりの依頼に対応
・ 静岡県中小企業団体中央会の依頼に対応
・ 浜松市環境企画課よりの依頼に対応
・ 富士商工会議所工業部会に講師派遣
・ 静岡県建設コンサルタンツ協会に講師派遣

・ 物故者への感謝状贈呈

渡邊 康行、鈴木 仁、平松 正市
平松 金一、名取 友一、池谷 保緒 計 6名

・ 総会

日 時 1998年4月24日(金)
会 場 静岡市 サンパレスホテル

9 会員の受賞

平尾 素一 会員(農業)
厚生大臣表彰を受ける。

10 日本技術士会中部支部への協力

定時総会:

5月16日 渡邊会長 出席
名古屋 弥生会館

幹事会:

5月16日 9月 9日 12月 5日 3月30日
計4回

渡邊会長 伊藤顧問(中部支部副支部長) 出席

事務局会議:

4月18日 7月18日 10月31日
2月13日 計4回

渡邊会長 伊藤顧問(中部支部副支部長) 出席

平成10年度技術士試験合格者説明会及び祝賀会:

3月27日 渡邊会長 伊藤顧問(中部
支部副支部長) 出席

静岡県技術士協会の紹介・説明と入会勧誘

日本技術士会中部支部事務所支援:

11月18日 渡邊会長 出席

愛知県技術士会平成10年度総会:

4月25日 渡邊会長 出席

三重県技術士会平成10年度総会:

5月23日 望月副会長出席

岐阜県技術士会平成10年度総会:

5月9日 石川副会長出席

その他: 当協会の活動状況を逐次報告

第2号議案 1998年度決算報告

(1)一般会計の部

科 目	収 入		支 出	
	予 算	決 算	予 算	決 算
前年度繰越	119,522	119,522		
賛助会費	180,000	170,000		
日本技術士会助成金	50,000	67,000		
入会金	55,000	20,000		
年会費	1,056,000	870,000		
会合費	1,500,000	951,000	1,700,000	1,243,026
事業費	1,000,000	449,400	1,000,000	449,400
事務所運営費			120,000	120,000
会報発行費			200,000	168,460
印刷費			250,000	173,715
通信費			250,000	219,065
雑収入/雑費	129,478	96,758	260,000	406,761
特別会計より繰入 40周年記念事業基金 繰入	10,000	6,800		
			100,000	100,000
未収金		160,000		
次年度繰越			220,000	30,053
計	4,100,000	2,910,480	4,100,000	2,910,480

(2)基金特別会計の部

項 目	科 目	予 算 決 算	
		予 算	決 算
基金の部	前年度繰越	2,000,000	2,000,000
	本年度増減	0	0
	合 計	2,000,000	2,000,000
利息の部	収 入	6,955	6,800
	一般会計 へ繰り入	6,955	6,800
	残 高	0	0

(3)40周年記念事業基金会計の部

科 目	収 入		支 出	
	予 算	決 算	予 算	決 算
前年度繰越	200,073	200,073		0
一般会計から の繰り入	100,000	100,000	0	0
合 計	300,073	300,073	0	0

会計監査報告

会計監事 松尾 博孝、寺田 洋子

第3号議案 名誉会員推戴の件

名誉会員(技術士部門順)

加藤 幸男、高塚 明経、金沢 徹
金子 信一、中川 滉、久米松太郎
高野 克巳、鶴田 三男、水谷 一夫
山田 康一、絹村 薫、二俣 数夫
松原繁左右

第4号議案 年会費改定の件

会員名簿発刊に伴う、慢性的な予算不足解消のため、2000年(平成12年度)を目途に2000円値上げをする。

第5号議案 1999年度事業計画案

1999年度事業は、従来の活動をより内容の充実したものとし、併せて地域社会への貢献を増加してゆきたい。

1 組織の安定化

- ・ 新規合格者および未加入者の勧誘
- ・ 活動および事務局のあり方の模索

2 静岡県技術士協会の認識度の高揚

- ・ 会報の刊行と、配布によるPRを行う。
- ・ 相談・依頼への対応、認識度の高揚を図る。

3 事業の実施

- ・ 総会の開催

日時 1999年4月23日(金) 14:30~

会場 静岡市 クーポール会館

- ・ 例会の開催 (見学会・会員相互の講演による研修会の開催を行う。)

7月 東部(東部担当)

10月 中部(中部担当)

12月 静岡(研修会・忘年会)

3月 西部(西部担当)

- ・ 地区ブロック会合
- ・ 外部団体等からの業務委託、技術的相談
- ・ その他

4 役員会

常任理事会、理事・役員会、地区役員会を随時開催する。

5 会報の刊行

年4回(6月、9月、12月、3月)

第6号議案 1999年度収支予算案

(1) 一般会計の部

科目	収 入		支 出	
	前年度決算	予 算	前年度決算	予 算
前年度繰越	119,522	30,053		
賛助会費	170,000	180,000		
日本技術士会助成金	67,000	167,000		
入会金	20,000	30,000		
年会費	870,000	1,050,000		
会合費(総会)		276,000		500,000
会合費(例会)	951,000	600,000	1,243,026	700,000
会合費(理事役員会)				150,000
事業費	449,400	450,000	449,400	450,000
事務所運営費			120,000	120,000
会報発行費			168,460	200,000
印刷費			173,715	50,000
通信費			219,065	250,000
雑収入/雑費	96,758	76,947	406,761	300,000
基金特別会計より雑収入	6,800	10,000		
40周年記念事業基金借入			100,000	100,000
未収金	160,000			
次年度繰越			30,053	50,000
計	2,910,480	2,870,000	2,910,480	2,870,000

(2) 基金特別会計の部

項目	科目	予 算	決 算
基金の部	前年度繰越	2,000,000	2,000,000
	本年度増減	0	0
	合計	2,000,000	2,000,000
利息の部	収 入	6,955	6,800
	一般会計へ繰り入	6,955	6,800
	残 高	0	0

(3) 40周年記念事業基金会計の部

科目	収 入		支 出	
	予 算	決 算	予 算	決 算
前年度繰越	200,073	200,073		0
一般会計からの繰り入	100,000	100,000	0	0
合計	300,073	300,073	0	0

第7号議案 そ の 他

以上

技術士の見栄



講師： 中本 至 先生
技術士（建設・水道）、工学博士

今回は静岡県にもゆかりのある日本下水道事業団理事長の中本先生に記念講演をして頂いた。まず、毛筆で書かれた配布資料、これまた毛筆で一人一人に違った俳句が書きこまれた先生の名刺が配られたのにびっくりした。

技術士の見栄が講演テーマであるが、いかに有効にPRをするべきかという話から始まった。上記の名刺もその一つの例、この名刺の住所が相模原市になっているのも息子さんの選挙区であることを意識したもの。日本技術士会長に、技術士会のバッジを弁護士や国会議員のような菊のデザインにしたらどうかという提案もされたという。また、名称にしても大工さん、左官やさんと紛らわしい「士」ではなく「師」を使うとか、それも期間をおいて更に上級の名称を作っていくというような工夫が必要。とにかく、目立つようにする工夫が世間の認知を獲得していく上で大切。これを通じて国民一般への認知と評価を高めて、技術士法の職業資格化への転換を目指し、社会の変革に対応した魅力ある団体にしていくべきだと強調された。

それにつけても、専門馬鹿でなく色々な分野のことを一通りは知っていて、どこからでも話題

を作っていける能力が大切。今年の技術士の試験問題をみても昔とはずいぶん変わった知識が要求されている。そこで簡単なテストを40問程だすのでやってみて欲しい。得点上位の人とBBの人には先生から賞金を出すといわれ、出された問題の一部をあげると「ダッチューノ」という言葉をはやらせたのはどういうグループか、歌会始めの御題は何か、静岡県の人口は、村のない県は、人口の一番少ない市は、日本のGDPは、現在のEUの加盟国数は、1ユーロは何円か、シリコンバレーとは、世界遺産に入っていないものは、環境庁長官の名前は、月までの距離は、テポドンとは、ワシントン条約とは、JICAとは、ISO14000とは、環境ホルモンとは、といった問題でなかなか及第点をとるのが難しいテストであった。最後に、今後のキーワードとなる六大変革、情報革命・光電革命・機械革命・新素材革命・バイオ革命・エネルギー革命についてふれられたあと、静岡県の日本全体の中での位置付けと、首都圏移転問題の取り組みを例にとって静岡県のやるべきこと、そ

の中での多分野の技術のエキスパートを抱えている静岡県技術士協会の活躍の場を開拓できることを指摘されて講演をしめくられた。なかなか、面白くて為になる講演でした。引き続き行われた懇親会でテストの表彰、各自がもらった先生の名刺に書かれていた俳句を読めた人には500円から5万円の懸賞がでるというチャレンジもあり諸先生方が真剣に取り組

んでおられました。(文責 北本)

先生からはこのような模範解答を送っていただきました。(B4判2枚)

誌面の都合により、一部分だけ紹介します。ご希望によりコピーをお送りします。協会事務局までお気軽にお申し込み下さい。



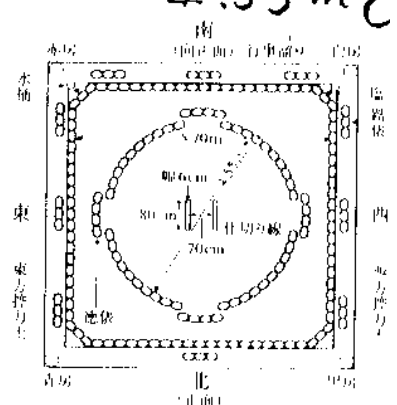
- サッカー決勝**
- 解答参考**
1. スペイン B
 2. 「だっちゅーの」A
 3. ヤクリト C
 4. [大相撲の十依] 4.55m C

パイレーツ 浅田好未 (あさだよしみ・79年東京都生まれ) と西本はるか (にしもと はるか・78年東京都生まれ) の2人組。97年結成後カルビー「味ポテト」のCMに、テレビでは「新ホキアブラ天国」「平成女学園」などに出演。2人で胸の谷間を強調したポーズをとりながら、声をそろえて「だっちゅーの」という芸で人気を得た。98年「INCANTATION」で歌手デビュー。

若松

7. B

(1) ゴッホの「医師ガシエの肖像」124



6. 山滴 C (俳句)
8. 曇り A (マーク)
- 快晴 ⊙晴 ⊙曇 ●雨 ⊙霧 ⊙雪
- 山笑ふ 春の山をいう。「臥遊録」の「春山淡冶にして笑ふが如く、夏山蒼翠にして滴るが如く、秋山明浄にして粧ふが如く、冬山惨淡として眠るが如し」という一節からとつた季題である。

- (2) ルーヴルの「ムラン・ドワ・テ・ガレット」119 後期
- 両者とも大昭和の者 藤了英氏
- (3) ゴッホの「ひまわり」58 後期
- 守田犬笑海上
10. A (静岡市人口)

静岡県人口 9. C

会員の消息

敬称は略させていただきます。



大森 政義(おおもり まさよし)

衛生工学部門(38899)

(株)ビルテクノス



齋藤 築也(さいとう つくや)

林業部門(39370)

国土防災技術(株)静岡支店



門田 光央(かどた みつお)

機械部門(011171補)

(株)スズキ

新規入会



氏名

生年月日

技術部門(登録番号)

最終学歴

勤務先

小林 哲(こばやし てつ)

応用理学部門(17053)

ヤマハ(株)



相澤 林作(あいざわ りんさく)

建設部門(3585)

キュウメートル(株)



越谷 信行(こしや のぶゆき)

建設部門(26417)

鹿島建設(株)横浜支店

行事予定

1999年7月:見学・討論会
沼津工業技術センター

【会費納入のお願い】

1999年度会費の納入がお済みでない会員の皆様、お早めに納入くださいますようお願いいたします。

年会費 ¥6,000です

振込先

静岡銀行 御殿場支店 普通 0634554

【静岡県技術士協会 会計 小川誠慈】

なお、1998年度分が未納の方もおいでです。協会財政が逼迫しております。特段のご配慮をお願いいたします。

編集後記

会報No.88をお届けいたします。毎年、総会関係記事等のために誌面はいっぱいになります。この影響で前回の例会(ヤマハ発動機コミュニティプラザ見学会)の記事掲載が次号に遅れます。ご了承下さい。

編集担当